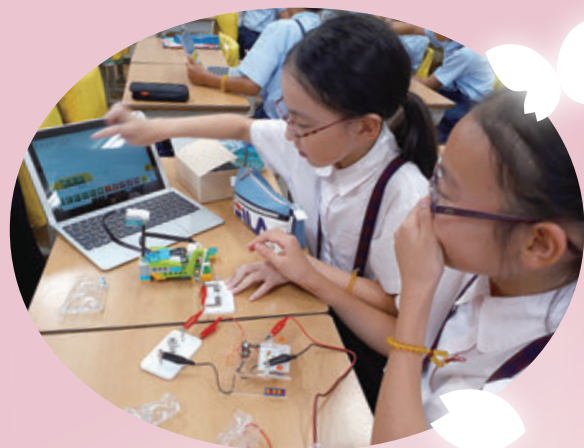


知性と品格をはぐくむ 12年一貫教育

智辯学園 和歌山小学校



感謝の心と強い絆
そして未来へ



CHIBEN GAKUEN 2022年度募集

教育目標

誠実・明朗

－ 真心のある明るく元気な子 －

目標とする人物像

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神と使命感を持つ人
3. 自己を確立しつつも社会性豊かな人
4. この世に生をうけた幸福を知る人



学校法人 智辯学園
理事長 藤田 清司

のびのびと いきいきと こどもたちの夢を育てたい

智辯学園和歌山小学校は、二十一世紀が要請する叡智と深い人間性を備えた真のエリート、つまり「真」・「善」・「美」・「聖」の高い価値を身につけた人材を育成するために、2002年4月10日開校しました。

智辯学園和歌山中学校・高等学校は開校以来、この和歌山の地で6年一貫教育を基軸とした教育を営んでまいりました。今日まで智辯学園が一番大切にしてきた教育の理念、それは「能力の最大伸長」と「人間性の陶冶」、つまり自分の能力の可能性を信じ、豊かな心を持つ人に育ってほしいとする、総ての親の願いに応える教育を進めるということです。この教育理念のもとに推進してきた学園教育は、確実に実を結び今日に至っています。この教育をさらに大きく発展させるために、学園がいままで実践してきた中・高一貫教育に小学校を加え、小・中・高を見通した系統的、継続的な12年一貫教育に歩を進めたのです。

智辯学園和歌山小学校は、小・中・高を見通した教育軸の中で受動的知識の習熟の教育から能動的知識の習熟の教育プログラムを構築し、あわせて、豊かで喜びのある、何事にも意欲的にとりくめる人間性を育むために「こころ」の教育を推進し、12年一貫教育だからできる教育を通して、のびのび・いきいきと「こどもたちの夢」を育てたい、そのような教育を実践しています。



能力と資質を最大限に伸ばす 12年一貫教育



校長 渡瀬 金次郎

小学校・中学校・高等学校までを同じキャンパスで学びます。

1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育だからこそ出来る真の心の教育としっかりとした基礎学力を総合的に身につけられます。これまで実践してきた6年一貫教育の確たる実績に裏付けられた自信があつてのことです。

この中高6年一貫教育を母体に、子どもの能力と資質を最大限に伸ばす12年一貫教育を進め、愛のある教育を実践しています。



深い思考



力強いリーダーシップ

中学校
高等学校

【年間授業日数約250日】



国際人として
広がる心



感謝の心

小学校

【年間授業日数約235日】



自然から学ぶ豊かな心



深め合う絆



心を一つに

感謝の心
思いやりの心
たくましく心
を育てる

品格

知性

思考力表現力
学ぶ意欲を育てる



主体的な学び

さあ、小学校生活の
スタート!



発達段階に応じた教育で、総合的な学力を養う。

小学1年生～小学4年生
基礎・基本期



好奇心・探求心が盛んな脳の発達期です。体験を重視した学習を通して学ぶことの楽しさに気づき、基本的な学習の習慣を身につけます。

小学5年生～中学2年生
発展・向上期



心身の発達の著しい成長の黄金期です。系統的な教科学習を主軸に、本格的な学習のあり方と自学自習の姿勢を身につけます。

中学3年生～高校3年生
習熟・充実期



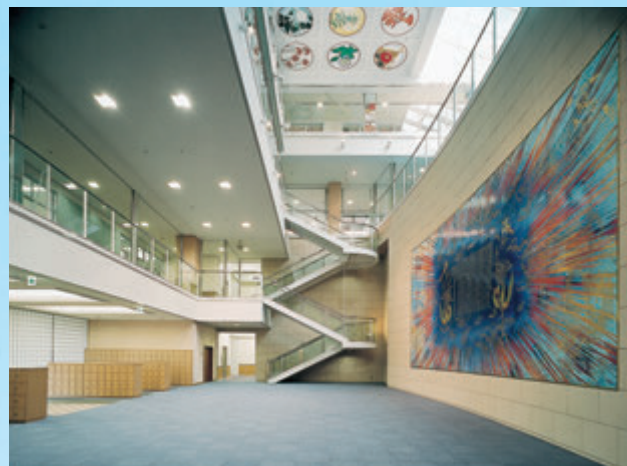
幅広い自我を伸長する自己確立期です。徹底した教科指導で高度な学力を養成し、各自の目標にあった合理的な学習法で応用力を身につけ大学受験合格を目指します。

12年一貫教育を実現するためにふさわしい環境

学園の高台から、和歌浦の海に沈む夕日が眺められる。小学校の建物は、この夕日の方向を主な軸線として、構成され展開されてゆく。

新設校舎と既設講堂の新旧2つのシンボルをバランス良く配置することで、キャンパスの北面に新たな顔を表示し、内装は感性を育むというコンセプトのもとに、南面にある大きな天窓から、四層吹き抜けの最下のエントランスホールへ太陽光が降り注ぎ、宇宙を表す大型美術陶板と相まって、幻想的な雰囲気を創出している。

画一化された空間ではなく、抑揚と変化に富む、包まれるような優しさや暖かさを感じられるよう内外空間の演出を試み、『小学生』という年齢を生きる子どもたちに、豊かな感性を育てる学びの器となることを強く希求し、それが設計の原点である。



エントランスホール



小学校校舎全景



北西外観



親子で星を観る会



稲刈り

ひとりひとりの意欲を伸ばす あたたかい教育

楽しい学校であるために

子どものキラキラした目の輝きに秘められた豊かな好奇心を大切に育て、学ぶことの、知ることの喜びと感動を十分に経験させたい。子どもたちにとって楽しい学校にしたいと思っています。では、楽しい学校とはどのようなことを意味するのでしょうか。それには、まず授業がよく分かることです。子どもたちは本来、“知りたい”、“何でもやりたい”、“分かってほしい”と真剣に願っているものです。本当に考えることが大好きなのです。そののぞみを充分にかなえてやりたいと考えています。

次に、大好きな友達がたくさんいることです。その友達とおもしろい、学び、遊べる学校生活はきっと楽しいはず。また、先生が大好きというのも絶対に必要です。私たちは「いつも子どもとともに」を大切にして、何事によ学校全体で感動が共有できる学園にしていきたいと思っています。

一方、保護者の皆さんとも、しっかりとスクラムを組んで子どもの教育ができるよう、できるだけ多く保護者の皆さんが参加できる行事を考えています。保護者の皆さんとの、しっかりとした理解と信頼関係があってこそ、子どもたちは安心して、学校生活を送ることができます。子どもの未来づくりのためにお互いに何ができるのか、ともどもに頑張りたいものです。

この学校に来てよかった。この学校に来させてよかった。皆さんの子どもを受け入れてよかった。それぞれが心からそう思える。子どもと、親と、先生とが一体となった、明るく、楽しい学校づくりを大切にしています。



とれたお米でおにぎり昼食

12年一貫教育の特色

主体的に学ぶ力

総合的思考力

小学校は基礎学力をつける大切な時期です。小学校の6年間を通して次のステップである中・高へ進むための基礎となる確実な勉強が必要です。発達段階に応じて、しっかりとした基礎学力を総合的に身につけなければなりません。

学習の根本には、単に理数系の学力問題にとどまらず、文章題を読解するための国語力、論理性を育てていくもとなる国語力があります。国語の学力はいろいろな教科の「学ぶ力」を支えていく大切なものです。

勉強とは「読むこと」、「書くこと」、「計算すること」が基本であることは言うまでもないことです。基礎学力の徹底、そのことは数学教育の徹底、国語教育の徹底でもあります。この両者にしっかりと軸足を置いて、小学校から高校まで一貫したシステムの中で、総合的思考力を育成していきたいと考えています。

専科制と教科担任制

教科・学年の状況に応じて、専科制・教科担任制を導入します。各教師が専門的な知識を持つ教科を担当することで、密度の高い学習と、わかりやすい授業が可能となります。また、学年によってチームティーチング制を取り入れ、子どもたちの学習・学校生活に、より安心感のもてるようにと取り組んでいます。

読書タイム

数学は全教科の言葉、国語は全知的活動の言葉であるとも言われています。つまり国語こそ教養の中核をなすものであり、本学園では特に力を入れます。そのために低学年では、しっかりとした読書力を身につけることを重視しています。本を読むべきタイミングがあります。読むべきタイミングを逸してはならないのです。あらゆる学習活動の中で進めていきますが、毎朝始業前に読書タイムを設定しているのもその一貫です。

英語教育

子どもは、新しい語彙や考え方を吸収しようとする生まれ持った好奇心やすばらしい能力を持っています。そのような子ども本来の能力から考え、1年生からEタイム(英語活動の時間)を設定しています。ただ、英語に対する早期英才教育を目指すものではなく、広い視野をもつ国際人としての資質の向上に役立つよう、英語に親しむことを目的にしています。特に低学年では、英会話入門、音声の学習を中心に、楽しく英語の初歩を学ぶために取り組んでいます。一方、6年生では、海外の児童生徒との交流会や修学旅行でのコミュニケーションなど、英語を使う機会があります。低学年から学習を継続させることで、英語を使うことへの抵抗意識を和らげ、積極的に実践できるようにしています。

情報教育

ネットワーク社会と言われる現代において、情報教育にも力を入れています。まず、コンピュータやタブレット端末に慣れることから始め、考える道具としての利用法、さらには、情報化時代における様々なコミュニケーションツールとしての使い方など、現代社会に対応するための基礎を培います。また、各教室に設置したプロジェクターや書画カメラ、1人1台タブレット端末を使つてのプレゼンテーションや、プログラミング教育など、ICT教育の充実にも力を注いでいきます。



姉妹校コーニッシュカレッジ(メルボルン)の歓迎会



救急救命法について学びます



タブレットを使つての授業



図書室で読書



コーニッシュカレッジの校長先生に英語であいさつ



天神崎での生き物観察



梅干し作り



コーニッシュカレッジの生徒との交流会

豊かな人間性

教育の目的が人格の完成を目指すことにあつて以上、「心」の教育は極めて大切です。本校では、仏教の教えに基づいた宗教的情操による「情感をはぐくむ教育」の実践を通して、心の豊かな、感謝の心を持った人間の育成を図ります。具体的には、

- (1) 週1時間、宗教の時間を設定し、「人と心のあり方」を学ぶ。
- (2) 毎月1回、感謝祭を行い、「父母の恩に感謝する」、「衆生の恩に感謝する」、「天地の恩に感謝する」、「三宝の恩に感謝する」ことを学ぶ。
- (3) 毎朝始業前のひととき「御真言・御宝号」をとえ、決意新たに一日の行動を開始する。
- (4) あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「情感をはぐくむ教育」を行い、感謝と奉仕のできる人間に成長するように努める。

これらが、特に心がけていく点です。



みそ造り

たくましい心と体

何よりもこのことが根底になければならないのは周知のことです。「心」と「体」をきたえ、何事にも意欲的に取り組むことができる教育を大切にしています。その実践のための学校行事・課外活動を考え、心と体をつくるのはもちろんのこと、個人の責任感、みんなで協力することの大切さ、みんなで達成したときの充実感を育成したいと考えています。

また、小学校では「遊び」も人間形成における重要な教育の一つです。「いつも子どもとともに」をモットーに、遊びの中でも、先生と子どもとの触れあいを大切にしています。

一週間の活動

週時間割

授業時間は1校時を45分で進めています。各学年とも各教科の質と量に対応するため、学年進行にしたがって授業時数を増加します。時間割設定の基本は、従来型のタスク・オン・タイムではなく、学習活動(タスク)に合わせて学習時間(タイム)を決めていく(タイム・オン・タスク)の考えに立っています。つまり、授業をより効果的なものにするために、2校時を1つのブロックにするとか、時間を小さい単位(モジュール)に設定するなどを含み、単位時間の弾力化を図るということです。また、4～6年生における一層の学習の充実を図るために、0校時(8:55～9:40)を設定するとともに、3～6年生の下校時刻を15時30分にしました。更に、クラブ活動や特別活動などは、金曜日の5限目に設定しています。なお、登校時刻は、低学年(1～3年)は9時15分まで、高学年(4～6年)は8時45分までとなっています。ただし、1年生については、学校生活に慣れるまで学習時間を調整していきます。

1年生の時間割表

	時・曜	月	火	水	木	金		土
登校時 (JR)	和→8:52 (黒江) 8:51←海							
9:15 }	朝 の 会						9:15 }	朝の会
9:40	朝の学習(読書など)						9:30	読 書
9:50 } 10:35	1 限	生 活	図 工	算 数	国 語	体 育	9:35 } 10:20	国 語
10:45 } 11:30	2 限	国 語		体 育	体 育	国 語	10:30 } 11:15	算 数
11:30 } 11:55	昼 食						11:25 } 12:10	宗 教
11:55 } 11:15	昼 休 憩						12:10～ 12:30 下 校	終わりの会
12:20 } 12:30	清 掃							12:30
12:35 } 13:20	3 限	算 数	国 語	E タ イ ム	算 数	算 数		
13:30 } 14:15	4 限	E タ イ ム	音 楽	国 語	音 楽	算 数		
14:25 } 15:10	5 限		算 数	国 語	生 活			
	終わりの会 14:15～14:30(月・金) 15:10～15:30(火・水・木)							
	下 校 14:30(月・金) 15:30(火・水・木)							

6年生の時間割表

	時曜	月	火	水	木	金		土
登校時 (JR)	和→8:18 (黒江) 8:16←海							
8:45 ～ 8:55	朝 の 会 ・ 読 書						8:45 ～ 8:55	朝の会 読 書
8:55 ～ 9:40	0 限	社 会	国 語 A	国 語 A	算 数	算 数	8:55 ～ 9:40	学 活
9:50 ～ 10:35	1 限	家 庭	図 工	算 演 習	体 育	E タ イ ム	9:50 ～ 10:20	算 演 習
10:45 ～ 11:30	2 限	家 庭	図 工	体 育	国 語 A	国 語 B	10:30 ～ 11:15	国 語 B
11:30 ～ 11:55	昼 食						11:25 ～ 12:10	プ ラ ス タ イ ム
11:55 ～ 11:15	昼 休 憩						11:50～ 12:05 下 校	終 わ り の 会
12:20 ～ 12:30	清 掃							
12:35 ～ 13:20	3 限	国 語 B	E タ イ ム	音 楽	社 会	理 科		
13:30 ～ 14:15	4 限	算 演 習	宗 教	算 数	理 科	音 楽		
14:25 ～ 15:10	5 限	体 育	算 演 習	社 会	理 科	ク ラ ブ ・ 委 員 会		
	プ ラ ス タ イ ム 15:05～15:20(月～金) 終 わ り の 会 15:20～15:30 下 校 15:30							



学級活動の時間



図工の時間



昼休憩の時間



生活の時間



Eタイムの時間



算数の時間



音楽の時間

グループ活動の時間

行事 —ひとつひとつの行事を大切にしたい—



野球体験教室



七夕飾りを
作ります



水泳教室



運動会の練習 みんなで力を合わせて！



古墳塚に参拝



ちまきをおいしくいただきました



クラブ活動



ひなまつり集会



節分集会



和歌山市消防音楽隊による演奏会



秋の収穫 芋ほり



七夕集会

毎月 ●授業参観と保護者会を催します。 ●感謝祭を行います。

4月

- 一学期始業式
- 入学式
- 新入生保護者会
- 健康診断

5月

- こどもの日の集会
- 避難訓練
- 春の遠足
- 親子学校見学会 (幼児)

6月

- 水泳教室
- 臨海学校
- 田植え

7月

- 七夕集会
- 入試説明会
- 林間学校
- 一学期終業式

8月

- 三者面談
- 親子で星を
観る会
- 保護者懇談会

9月

- 二学期始業式
- 夏休み作品展
- 留学生との交流会
- 音楽鑑賞会

10月

- 運動会
- 秋の社会見学
- 秋の収穫

11月

- 入学試験

12月

- 文化祭
- 二学期終業式
- 三者面談

1月

- 三学期始業式

2月

- 節分集会
- 修学旅行 (オーストラリア)

3月

- ひなまつり集会
- 卒業式
- 三学期終業式
- 三者面談

運動会 全員で力を合わせてがんばります



文化祭 みんなで盛りあげます



臨海学校・林間学校

大阪府立青少年海洋センター
高野山
白崎青少年の家
田辺スポーツパーク



春の遠足

万葉館・片男波公園
四季の郷公園
紀伊風土記の丘



秋の社会見学

海南市わんぱく公園
明治ヨーグルト館・善兵衛ランド
大阪ガス ガス科学館
和歌山大学教育学部
大阪歴史博物館・大阪市立科学館
ピース大阪・
造幣局



オーストラリア修学旅行

メルボルンにある姉妹校を訪れ同世代と楽しく交流し、
たくさんの思い出ができました。
また、シンガポールでも貴重な体験ができました。



シンガポールの植物園で



姉妹校コーニッシュカレッジを訪問



ブーメラン投げに挑戦



アボリジニーペインティング体験



ピリティ&ダンパー



パティと



姉妹校の友達とランチタイム

入学式

今日から小学校生活の
スタートです



感謝の心と強い絆
そして未来へ



2年生に折り鶴をかけてもらいます



自分の名前のリボンをもって



理事長先生よりお念珠をいただきます

卒業式

大きく成長して
卒業しました



理事長先生のお諭し



校長先生の式辞



中学校でもがんばります



6年間ありがとうございました



小学校について Q & A

Q-1 学校の規模はどのようなですか。

A 1学年の定員は約80名(男女共学)、2学級編制です。

Q-2 学費などの諸経費はいくらですか。

A

入学時の費用		一年間の学費
入学金	200,000円	授業料、育友会費、旅行費、学級費など 約630,000円
制服・制成品代	約140,000円	

※入学手続後、「特別寄付金」として、1口100,000円(3口以上とし、口数は任意とする)のご協力をお願い致します。また、一年間の学費については在学中に改定されることがあります。

Q-3 通学方法について。

A

児童の登下校は徒歩、J Rの利用、自家用車による保護者の送迎のいずれかになります。但し、自家用車の送迎は、自立を考え過剰にならないこと、一般の交通の妨げとならないよう指示を遵守すること、などにご留意ください。また、J Rを利用する場合、本校の中高生を含む朝のラッシュを避けるため、9ページの時間割表に示している列車を利用してください。J R黒江駅と学校の間は教員が引率して、集団登下校します。

(スクールバスの運行は現在行っておりません。)

Q-4 昼食について。

A

本校ではご家庭でお弁当の準備をお願いしております。愛情のこもったお弁当を通じて、親と子の会話がはずみ、感謝の心をはぐくむことができると考えております。

Q-5 土曜日の扱いはどうしていますか。

A

月1回(第二土曜日)は休みとなりますが、他の土曜日は午前中授業となります。

Q-6 学校行事と保護者の参加について。

A

いろいろな体験を通して、豊かな人間性を育むこと、また児童相互の関係を深めるために、できるだけ行事(春の遠足・秋の社会見学、林間・臨海学校、オーストラリア修学旅行、運動会、文化祭、音楽鑑賞会、季節の行事、夏休み作品展、図工作品展、親子で星を観る会など)を多くとり入れています。

さらに、行事などを通して上級生や中高生との関わりの時間を作るよう心掛け、「縦割り学習」を進めています。

保護者のみなさんとは、しっかりとスクラムを組んで子どもの教育を進めていくために、子どもといっしょに参加できる行事、保護者のみを対象にした行事、学期ごとの三者面談、授業参観、学級懇談会(学年懇談会)等、学校とみなさんとが自由に話しあえる機会を設定しています。



2021年度 学校見学・入試説明会のご案内

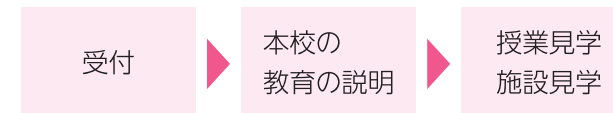
個別見学

児童がいきいきと学ぶ授業の様子や教育環境等をご見学いただきます

6月1日(火)～ 随時実施
5月中旬より受付開始予定

保護者・
教育関係者対象

●当日スケジュール

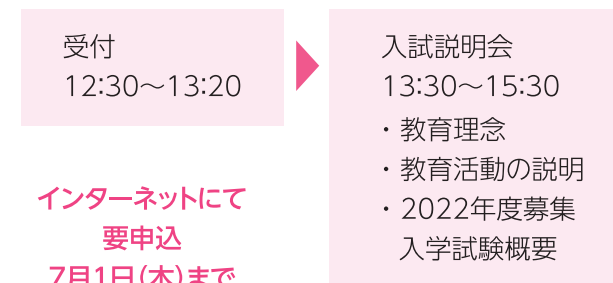


入試説明会

7月3日(土)13:30～15:30

保護者対象

●当日スケジュール



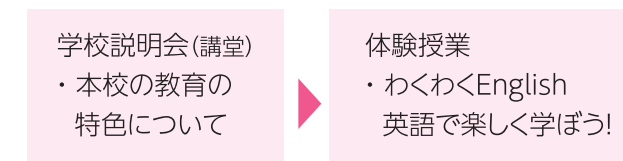
インターネットにて
要申込
7月1日(木)まで

親子学校見学・体験授業会

7月17日(土) 9:40～11:40
7月24日(土)

参加費無料

●当日スケジュール



※各回定員約60組(予定)
※保護者のみの参加も可能です

申込方法

本校ホームページ内「**見学会・説明会**」ページからお申込みください。

ちべん 和歌山小学校



TEL:073-479-1200

※電話でのお問い合わせ・お申込みも受け付けています。
※文部科学省の新型コロナウイルス感染症対策の指針に沿って開催いたします。



2022年度 児童募集

募集人員

男女80名

受験資格

2022年4月1日学齢に達する幼児

出願期間及び方法

期間

2021年8月1日(日)～8月28日(土)

方法

本校ホームページより出願ください(インターネット出願)

受験料

20,000円(ただし、手数料が必要となります)

試験について

選考要領

生活年齢に応じた判断力、基本的生活習慣や生活態度等についてペーパーテスト、個別テストなどにより総合的に判断します

試験日

2021年11月7日(日)

親子面接

出願後、9月・10月の土日のうち、いずれかで実施

合格発表

2021年11月10日(水) ホームページにて



明るく元気に登校してきます



マルチビジョンルーム



視聴覚教室(小講堂)



中庭の藤棚

教育の特色

智辯学園が目標とする「人」は

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神と使命感を持つ人
3. 自己を確立しつつも社会性豊かな人
4. この世に生をうけた幸福を知る人

教育目標

● 知力の徹底的訓練を期す

知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力も身に付けることが必要です。本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間授業日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の習得に特に配慮。さらに十分な時間をかけて授業を行うことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現を目指します。

● 「情感」をはぐくむ教育

教育の目的は人格の完成を目指すことであるため、「心」の教育は大変重要です。本学園では宗教的観点に立った“情感をはぐくむ教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。

・「宗教」の時間…人と心のあり方、道徳と哲学の時間です。

・「感謝祭」…四恩(父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩)に感謝します。

● 三位一体の教育

本学園の教育は相互の信頼と扶助にもとづく努力と創造によって達成されるものと考えています。同じ志の下に集い、努力を惜まず目標に挑戦する生徒と、本学園の教育理念に賛同し、我が子の成長を願い日々の教育を支える保護者、そしてその親の願いを叶えるべく、日々研鑽を積み、情熱を持って生徒に関わる教職員。三者の結束と連携が発揮されることで、本学園に求められる全ての希望と期待が充足されるものと確信しています。

● 国際人を育てる教育

国際的な教養と感性、国際平和を目指す強い意思は、これからの時代にますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長を目指し、海外交流を重ねています。アメリカ・ワシントン、韓国・ソウル、オーストラリア・シドニーにある姉妹校と交換留学を行っています。他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。

● 体験型学習を通して自主性・協調性を養う

中学校では各学年でそれぞれ3～4日の校外研修を実施しています。中学1年では奈良県の曽爾高原(国立曽爾青少年自然の家)で林間学校を行い、これから共に勉学に励む仲間との協調性を育みます。中学2年では淡路島で臨海学校(国立淡路青少年交流の家)を行い、カッター研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や責任感、リーダーシップを養う貴重な機会です。中学3年は広島で平和学習を行うとともに、瀬戸内海沿岸を周遊し、それぞれの地域の歴史や文化を学びます。

難関国公立・私立大学

小中高12年一貫コース卒業生に限る(1学年定員80名)

合格実績

国公立大学

	2021年(8期生他)	2020年	2019年
東京大学	2	3	3
京都大学	3	0	1
大阪大学	1	2	1
神戸大学	4	2	1
国公立大学医学部医学科※	17	12	12
合 計	27	19	18

※文部科学省管轄外大学合格者含む

私立大学

	2021年(8期生他)	2020年	2019年
早稲田大学	2	8	8
慶應義塾大学	4	2	1
同志社大学	7	10	8
立命館大学	11	14	8
関西大学	3	6	2
関西学院大学	5	5	6
私立大学医学部医学科	15	20	13
合 計	47	65	46



建学記念講堂



図書館1階ロビー



コンピュータ自学自習室

智辯学園和歌山中学校・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と、藤田照清前理事長の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校した。以来、知力の徹底的訓練を期した教育は、確実に実を結び大学進学の実績は全国のトップレベルに位置する。なお、平成29年度から新しい学習内容について、よりきめ細かに対応するため、一校時を60分とした。

一方、感動を共有する学園教育の一翼を担う野球部の活躍は、春・夏甲子園において、優勝3回、準優勝4回。特に、平成24年夏には、夏の甲子園大会8年連続出場、平成31年春には、平成時代の甲子園大会最多勝利数63を誇っている。

また、平成29年には、編入コースに陸上部を創設した。勉学に加え、全国高等学校駅伝競走大会を目指して日々練習に励み、昨年は男女両チームが和歌山県代表として出場を果たした。

生徒の一日

校時表[60分授業]

読 書	8:30～8:40
1限目	8:40～9:40
2限目	9:50～10:50
3限目	11:00～12:00
昼 食	12:00～12:35
4限目	12:35～13:35
5限目	13:45～14:45
6限目	14:55～15:55
7限目	16:05～17:05

● 読書時間[8:30～]

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身につけます。

● 御真言 御法号[8:40～]

決意を新たに一日のスタートをきります。

● 昼休み[12:00～12:35]

● 放課後[15:55～]

(コースによっては7限目もあります)

12年一貫コース



中森健人さん(3期生)
大阪大学医学部医学科6年

私は3期生として智辯和歌山小学校に入学しました。今は大学で臨床実習を行い、実際の現場で医学の知識を学んでいるところです。小学校での教科書に留まらない授業や、先生、同級生との出会いを通じて学んだことは、それからの中高、大学での学生生活でも役に立っていて、辛いとき、怠けそうな時も一歩留まる力をくれています。また、12年一貫ということで、勉強だけでなく自分の興味ある事を考える時間、サポートもありました。このような環境で過ごせたことにはとても感謝しています。皆様にもぜひ智辯和歌山に入学して、尊敬できる先生や友達と素晴らしい環境の中で楽しく充実した12年をつくって欲しいと思います。



林 夏帆さん(7期生)
東京大学文科一類2年

私は、小学校から12年間智辯学園でお世話になりました。昨春、東京大学文科一類に進学し、将来検察官になることをめざしています。私が法律関係の仕事に興味をもったきっかけは、小学校5年生のころに受けた公民の授業でした。小学生のうちから先生方の熱心な指導を受けたことで、将来やりたいことを早い段階で決めることができました。また、修学旅行や社会見学などの楽しいイベントを通じて視野を広げることができたのも智辯小学校の魅力だと思います。この12年間、智辯学園で学んだ事をこれからの人生に活かしていきたいと考えています。



岡村直樹さん(7期生)
広島大学医学部医学科2年

部活動が終わってから、私は一日の大半を受験勉強に費やしました。勉強に専念する、というのは簡単なようで、とても耐えられない必要のあることでした。

私は中高で吹奏楽部に所属し、部長も務めました。日々朝から放課後まで必死に楽器を練習した経験は、その忍耐力の基盤となり、自分の第一志望に真剣に向かい合い、何があっても諦めずに突き進むことができました。

12年一貫教育のゆとりある環境の中、智辯小学校では日々の授業やたくさんの行事を通じて、様々な体験の中から学ぶことができました。

智辯小学校は、多くのことを吸収していく大切な時期を過ごすのに、最適な学び舎だと思います。



百名孝太さん(5期生)
和歌山県立医科大学医学部
医学科4年生

私は、小学校、中学校、高等学校と十二年間、智辯学園和歌山にお世話になりました。今は、毎日が勉強や部活動(準硬式野球)で充実しています。日々の勉強が大変なこともありますが、一步一步医師になるための階段を上っているという実感があります。今日までの人生の半分以上を智辯学園で過ごしてきた中で、本当に沢山の事を教えていただきました。高校時代には、野球部応援団で応援団長を務めさせていただき、集団を統率する力、リーダーとしての振る舞い方を学ぶ事ができました。こうした経験は、この先自分が医師として活躍していく上で大きな財産になると思っています。そして何よりここまで成長できたのは、十二年間級友や先生方に恵まれていたからです。こうした環境が整っているのは、智辯学園和歌山ならではの事だと思います。

これからご入学される皆様にとって素晴らしい出会いが待っている事を願っています。

せんぱいからのメッセージ



畑中千宙さん(9期生)
智辯学園和歌山高等学校3年

智辯学園和歌山小学校に入学してから、将来の夢は「小学校の先生」になることです。それは、私が人に教えることが好きなのに加え、小学校生活が楽しく、さらに縦割りの活動で年下の子たちとの関わりが楽しかったからです。今でも、教育関係に携わる進路に進みたいと考えています。

また、小学校6年生の時に児童会の副会長を経験し、会長のサポートをしました。高校に進んだ時に、「もう一度、生徒会という組織に入って、自分が主体となる立場になって、みんなを引っ張りたい」と強く思い、昨年度から生徒会長になることができました。コロナ禍の中、生徒会長として、行事を一から考え直していくのは大変でしたが、「不遇の世代で終わらさない」というスローガンで、前向きに取り組んできました。

小学校・中学校・高等学校を通して、先生方は自分たちのことをよく見て、いつも授業や遠足、行事と一緒に楽しんでくれたので、私はこの学校がとても好きです。

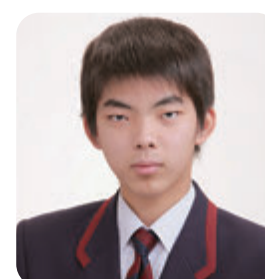


前田あんなさん(10期生)
智辯学園和歌山高等学校2年

中学校・高等学校では、本格的に大学受験に向けての勉強が始まりましたが、小学校はその土台になるものを築けた場所でした。

先生方の工夫が凝らされた授業や、テストでの友だちとの競争などを通じて、勉強することの楽しさを知ることができました。私の今の一番の得意科目は歴史です。それは、小学校の頃の社会の授業で、歴史に強く興味を持ったこと、そして、それに応えて、深いところまで教えてくださる先生がいたことが大きく影響しています。このように、小学校の先生方には私たちの心に芽生えた学びの意欲を大切に、しかも確実に育てていただきました。

私は、今高校2年生となり、部活動(チアリーディング)と勉強を両立させる日々を送っています。これからも、熱心な先生方と高い志を持った多くの仲間とともに、目標に向かって努力を積み重ねていこうと思います。



中川淳之さん(11期生)
智辯学園和歌山高等学校1年

私は小学校から智辯学園に通い、今年、高校1年生になりました。

小学校では、友達と中学入試の難しい問題を解く算数演習の授業が一番楽しかったです。解けると、先生が更に難しい問題をどんどん与えて下さり、解けた時の爽快感から、算数が益々好きになりました。

また、疑問に思った事は、先生が丁寧に指導して下さいるので、とても心強かったです。

私は、温かく見守って下さる先生方を支えに、目標に向かって頑張っていきたいと思っています。



大西里音さん(15期生)
智辯学園和歌山小学校6年

智辯学園のスローガンは、「感謝の心と強い絆 そして未来へ」です。校長先生は、「感謝の言葉である『ありがとう』を大切にして、その感謝から生まれた周りとの強い絆が未来につながっていく」とよくお話していただきます。

私は、幼少期から元々引っ込み思案で、人前で発表することが苦手でした。そんな不安いっぱいでも迎えた入学式。当時の児童会執行部の6年生が、在校生代表として堂々と歓迎の挨拶をしてくれました。私は、その光景を目の当たりにして、「こんな風になりたい」と目標を持つことができました。このことを先生方に伝えると、人前で発表することが苦手だった私をたくさんサポートしてくれて、今では児童会副会長として、人前で発表することが楽しく感じるようになりました。

智辯学園和歌山小学校の先生方は、得意なことを「もっと伸ばし」、苦手なことは「どうしたら得意になれるのか」を、一人一人真剣に考えて寄り添ってくれます。また、どの教室でも児童のみんな、思いやりがあって、笑顔に満ちあふれています。友だち同士、高みを目指して切磋琢磨し合える智辯学園和歌山小学校が大好きです。

案内図



智辯学園和歌山小学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL 073(479)1200 FAX073(479)2827
<https://www.chiben.ac.jp/wakayama-el>

併設校

智辯学園和歌山中学・高等学校

写真や行事等の掲載内容は2019年以前のものです。

21世紀に飛翔する智辯学園

智辯学園高等学校 (昭40.4)
智辯学園中学校 (昭42.4)

奈良県五條市野原中4丁目1-51
TEL.0747-22-3191

智辯学園和歌山中学・高等学校 (昭53.4)
智辯学園和歌山小学校 (平14.4)

和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL.073-479-2811

智辯学園奈良カレッジ (平16.4)
小学部・中学部・高等部

奈良県香芝市田尻265番地
TEL.0745-79-1111